

# 西洋医学もホリスティックでしょ！

「アンチ西洋医学」なんていってるような人は、ホリスティックじゃないですよ

ファシリテーター紹介



高橋ファミリークリニック院長  
当協会理事・中部支部長  
高橋 信雄

内科医(専門分野:糖尿病・消化器内科)  
西洋医学は勿論のこと、食養生(分子整合  
栄養医学、マクロビオティックス)・鍼灸  
など東洋医学的診療もとりいれている。

ホリスティックってなんでしょう？

西洋医学しか知らない医師は他の治療家(代替医療家)を否定し、代替医療家は西洋医学を否定して、自分の治療を正当化していることをよくみかけます。あたかも敵のようです。そこには患者さんにベストな治療を提供するという気持ちが少ないと思います。ホリスティック医学とは、自分の治療だけが正しいとおもわず、他の治療も正しいと認める謙虚な心から始まるのではないのでしょうか？ 他を認める寛容さが大事だと思います。今回は西洋医学の良いところを紹介し、皆でホリスティックとは何か?を考える機会にしたいと考えています。

ファシリテーター紹介



統合医療 希望クリニック院長  
当協会理事 堀田 由浩

外科、形成外科医。がん治療に対して鍼灸、気功、免疫療法など全身の調和を取ることを基本に、治療計画を立てて統合医療的アプローチを行っている。



J A P A N  
H O L I S T I C  
M E D I C A L  
S O C I E T Y

ホリスティック医学の原点を見つめなおして

ホリスティック医学とは人間丸ごとを対象にする医学であり、そもそも西洋医学や東洋医学、各種代替療法を区別することは無いと言える。しかし、ホリスティック医学を説明するにあたってしばしば代替療法の利点と西洋医学の欠点を組み合わせた解説が多かったと思われる。今回現代の西洋医学の利点と成果を確認することでバランスのとれたホリスティック医学の理解を深められれば幸いである。特に急性外傷、結核をはじめ細菌、原虫、一部の寄生虫や真菌感染症、急性心筋梗塞や脳梗塞、肺塞栓症など内科的緊急疾患、動脈瘤、腸や卵巣ねん転や胆道閉塞症、破裂寸前の急性虫垂炎、血種による脳の圧迫など緊急外科手術が症状を劇的に改善し根治も期待できる。形成外科では先天的な奇形に対して技を駆使して劇的な外観の変化を生じさせる。西洋医学にかかわってきた外科。形成外科としての経験をお伝えしたい。

※フォーラム終了後に講師を囲んで懇親食事を予定します。会費は頭割り実費。参加希望者は会場受付でお申し出ください。

日時 2017年**5月25日(木)** 18:30~20:30

会場 **市民活動推進センター(ナディアパーク6F 集会室)**

名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル6階 TEL052-228-8039

会費 一般 1,500円 (日本ホリスティック医学協会会員 1,000円)

主催 特定非営利活動法人 日本ホリスティック医学協会中部支部  
事務局(長谷部) 愛知県一宮市平和1-2-13

インターネット受付 <http://holistic-chubu.org/event/>

申込み TEL **0586-46-1273** FAX **0586-46-0367**

問合せ メールアドレス [contact@holistic-chubu.org](mailto:contact@holistic-chubu.org)



地下鉄名城線「矢場町」駅6番出口 徒歩5分  
地下鉄東山線「栄」駅 サカエチカ8番出口 徒歩5分

メルマガ「ホリスティックの壺」好評配信中！(完全無料・毎週更新)  
購読は中部支部ホームページより <http://holistic-chubu.org>